

山梨県砂利組合連合会主催 『労働災害防止研修会』開催！

ACTIVE KUMIAI

県内の4協同組合(山梨県砂利協同組合、身延砂利協同組合、早川砂利協同組合、富士川中流砂利協同組合)で組織される『山梨県砂利組合連合会』(井上聰一郎会長)は、去る6月29日(土)、甲府市宝のNOSA I会館内研修室において『労働災害防止研修会』を開催した。

この研修会は、7月の『全国安全週間』に先立って毎年行われており、今年も連合会組合員の砂利採取業者ら50名の参加の下、講師に労働安全コンサルタントの功刀能文氏を招いて行われた。

井上会長は、冒頭のあいさつの中で、社会における当業界の有意性を確認するなかで、(二社)日本砂利協会全国大会で掲げられたスローガンの一つである“地域社会への貢献と労働災害の撲滅”を実践するためにも、毎日の朝礼やミーティングなどを通じて日ごろから安全への意識を高めるよう訴えた。

研修会では、「山梨第12次労働災害防止計画」の説明をはじめ、過去に起きたさまざまな労働事故の事例に加え、最近起きた事故の特異性、些細なことに潜む危険性などの説明と、安全衛生活動の継続の重要性が述べられた。また、近年十分な対策がさげばれている『熱中症』に対しても注意喚起とその予防策について詳しい説明がなされた。



講習を聴く参加者



あいさつを述べる井上会長

参加者からは、「日ごろから安全については意識しているつもりだが、あらためてさまざまな事例と詳しい解説を聞くと、見落としていた部分に気づかされ、もう一度安全について見直すよい機会となった。」という声が聞かれ、井上会長は「日々安全で明るい職場が保たれるよう、意識の高揚を図るために、今後もこの研修会を続けていく」と語った。